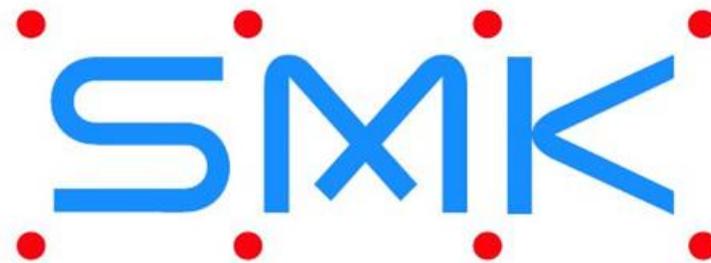


2016年3月期 通期 決算説明会



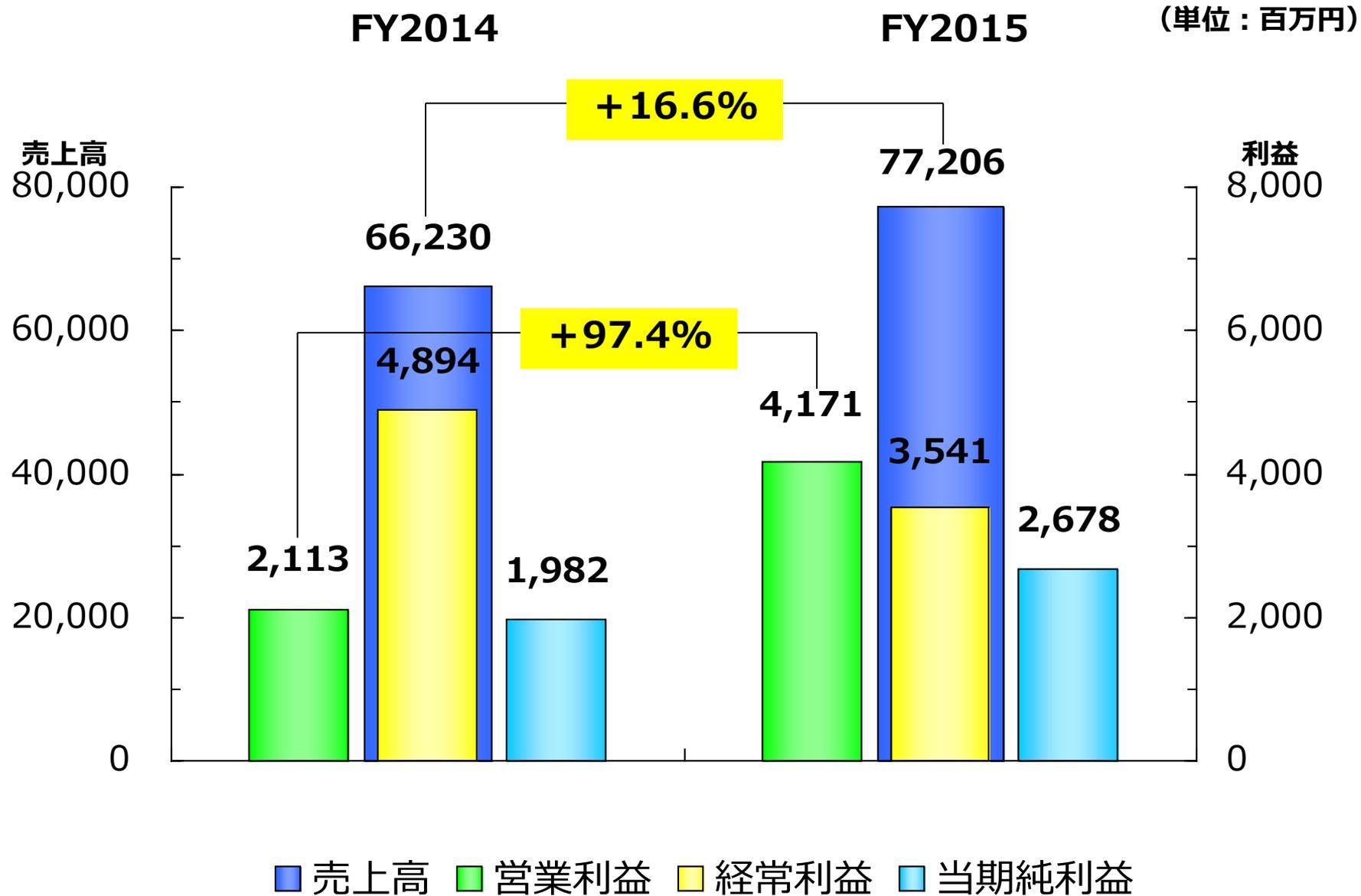
CREATIVE CONNECTIVITY
もっと創造的に、もっと繋がる

2016年5月10日

2016年3月期 決算の概要

常務執行役員 大垣 幸平

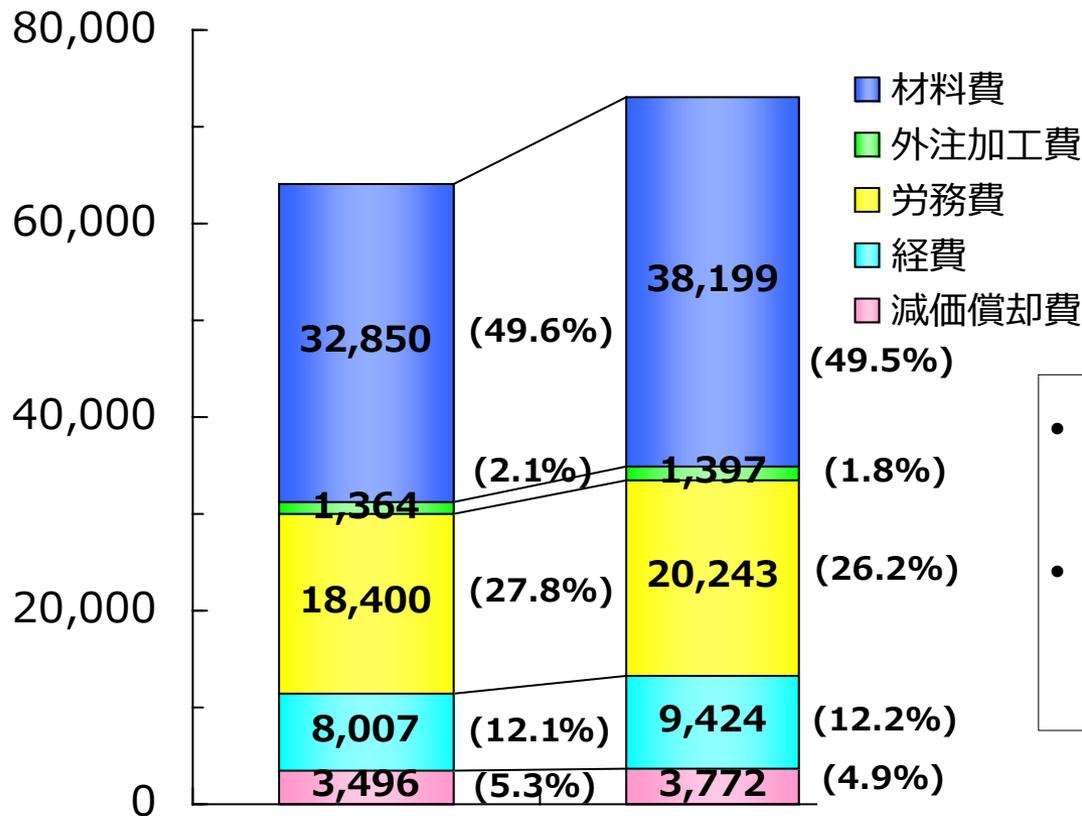
＜連結＞通期業績



＜連結＞ 営業費用

(単位：百万円)

FY2014	FY2015	
64,117	73,035	():売上比
(96.9%)	(94.6%)	



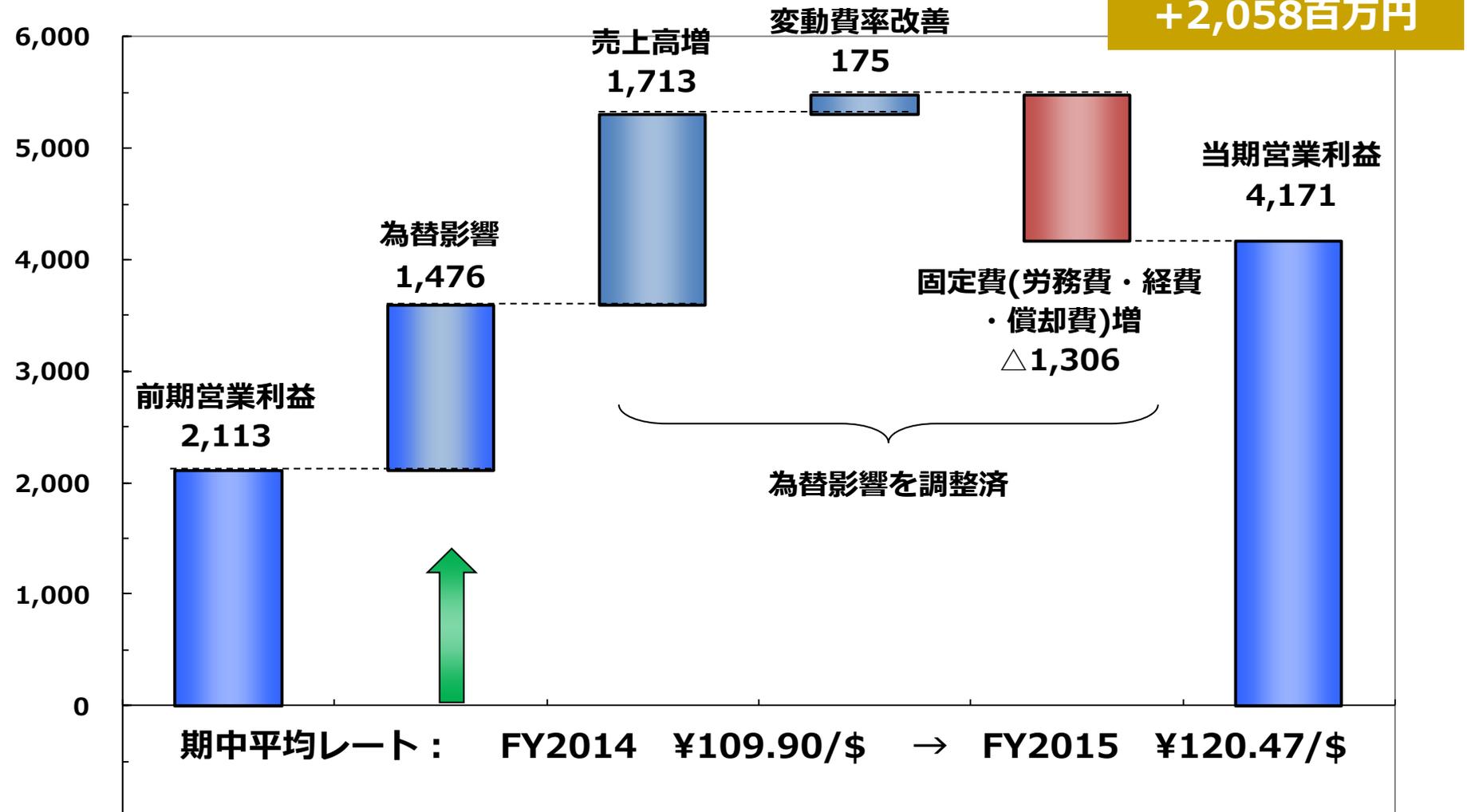
- 材料費・外注加工費率 0.4%改善
51.7%→51.3%
- 労務費・経費率 1.5%改善
39.9%→38.4%
増産効果による労務費・経費率の減少

営業利益	2,113	4,171
	(3.1%)	(5.4%)

＜連結＞ 営業費用分析

(単位：百万円)

連結営業利益増減要因分析 [FY2014 対 FY2015]



＜連結＞ 営業外損益

(単位：百万円)

FY2014
2,781
(4.2%)

FY2015
△630
(△0.8%)

():売上比

- 為替差損益
- 不動産収支
- 金融収支
- その他

【為替差益→為替差損 △3,533百万円】

1. FY2014

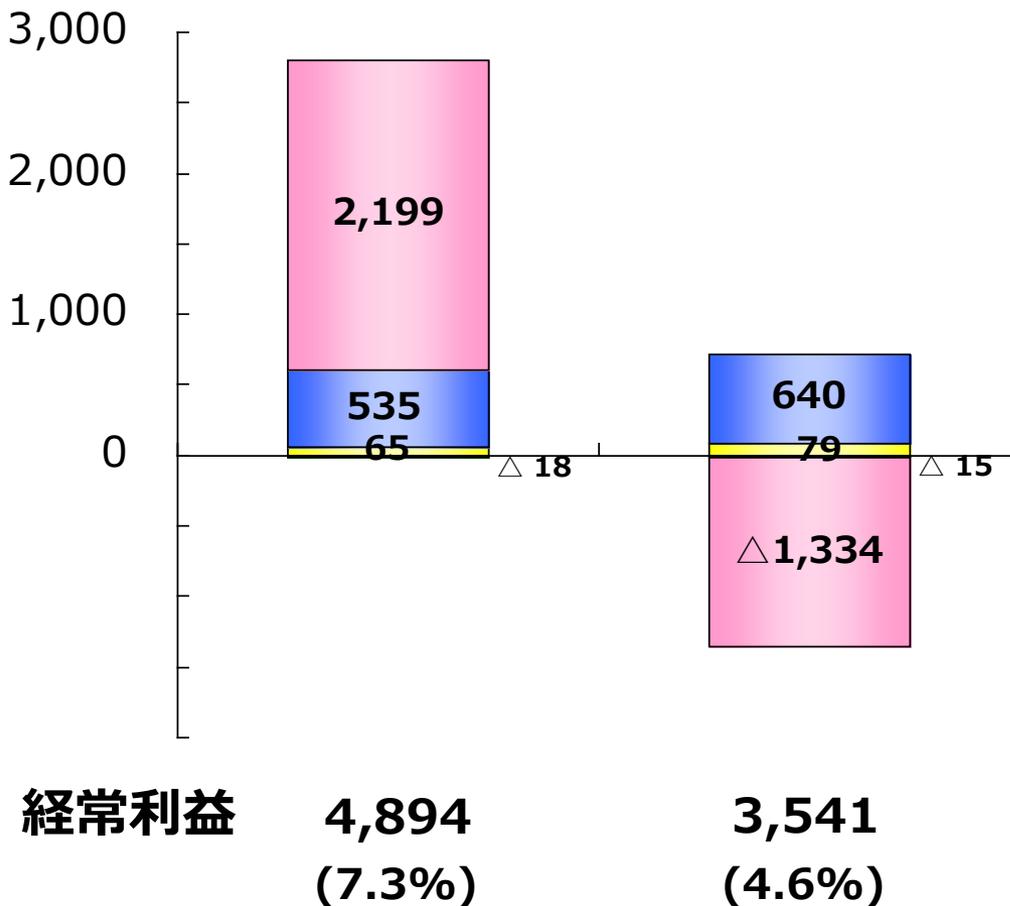
2014/3 ￥102.92/\$

2015/3 ￥120.17/\$ 17.25の円安

2. FY2015

2015/3 ￥120.17/\$

2016/3 ￥112.68/\$ 7.49の円高



＜連結＞特別損益

FY2014

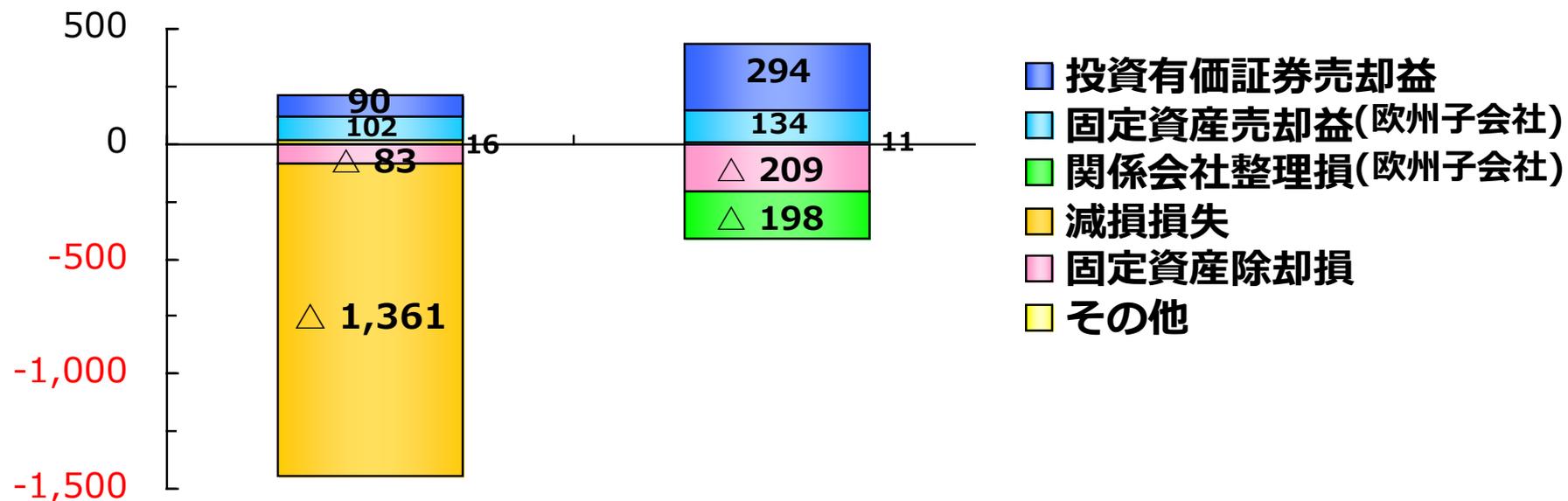
△1,236

FY2015

32

(単位：百万円)

() : 売上比



税引前利益

3,658

3,573

税金等 (含税効果処理)

△1,676

△980

非支配株主に帰属する純損失

-

85

当期純利益

1,982

2,678

(3.0%)

(3.5%)

＜連結＞セグメント情報

FY2015

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	C S事業部	F C事業部	T P事業部	計		
売上高	27,095	35,449	14,467	77,011	195	77,206
セグメント利益 又は損失 (△) (営業利益)	2,215	370	1,838	4,423	△252	4,171

FY2014

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	C S事業部	F C事業部	T P事業部	計		
売上高	25,901	25,027	15,184	66,112	118	66,230
セグメント利益 又は損失 (△) (営業利益)	921	△723	1,909	2,107	6	2,113

(注) その他部品事業、リース事業、不動産賃貸事業、ファクタリング事業及び労働者派遣事業

＜連結＞ 財政状態

(単位：百万円)

	2015/3 (A)	2016/3 (B)	増減 (B - A)
資産	65,029	67,606	2,576
現預金	10,182	10,778	595
受取手形及び売掛金	16,979	16,509	△470
棚卸資産	6,422	7,187	764
固定資産	27,696	29,237	1,541
負債	30,842	34,318	3,475
買掛金及び未払金	10,513	11,053	540
有利子負債	14,247	17,546	3,299
純資産	34,187	33,287	△899
資本金	7,996	7,996	—
自己資本比率	52.5%	48.8%	△3.7%

＜連結＞ キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	FY2014	FY2015
営業キャッシュフロー	4,820	6,211
運転資金	△1,586	△156
税引前利益	3,658	3,573
減価償却費	3,669	3,970
その他	△921	△1,176
投資キャッシュフロー	△5,938	△7,182
フリーキャッシュフロー	△1,118	△970
財務キャッシュフロー	△155	1,636
有利子負債の増減額	622	3,294
自己株式の増減額	7	△948
配当金の支払金額	△716	△1,062
その他	△68	352
現金等期首残高	11,134	9,999
現金等期末残高	9,999	10,668

業績予想及び年間配当金

(1) 連結業績予想

(%表示：対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
FY2015	77,206	16.6	4,171	97.4	3,541	△27.6	2,678	35.1
FY2016(予想)	76,000	△1.6	3,100	△25.7	3,300	△6.8	2,300	△14.1

(2) 年間配当金

	第2四半期末	期 末	年 間
FY2015	6円00銭	8円00銭 (記念配当4円00銭含)	14円00銭
FY2016(予想)	5円00銭	5円00銭	10円00銭

FY2015実績とFY2016見通し

代表取締役社長 池田 靖光

CREATIVE CONNECTIVITY

もっと創造的に、もっと繋がる

SMK役員人事-1

2016年6月22日付

13/25

1. 新任取締役候補

新 職	旧 職	氏 名
取締役常務執行役員 欧米州圏営業担当	常務執行役員 欧米州圏営業担当	Paul Evans (ポール エバンス)

新 職	継続職	氏 名
取締役	日本ガイシ株式会社 社外取締役 公益財団法人 全国中小企業取引振興協会 会長	中村 利雄 (ナカムラ トシオ)

2. 退任予定取締役

新 職	旧 職	氏 名
特別顧問	取締役 (社外取締役)	棚橋 祐治 (タナハシ ユウジ)

3. 新任監査役候補

新 職	旧 職	氏 名
監査役 (社外監査役)	みずほプライベートウェルス マネジメント 常勤監査役	福井 盛一 (フクイ モリカズ)

4. 退任予定監査役

新 職	旧 職	氏 名
最高顧問	常勤監査役 (監査役会議長)	池田 彰孝 (イケダ テルタカ)

SMK役員人事-2 2016年6月22日付

5. 執行役員の昇格

新 職	旧 職	氏 名
常務執行役員 トランスナショナルTP事業部門 担当	執行役員 トランスナショナルTP事業部門 担当	柳 茂哉 (ヤナギ シゲチカ)

柳 茂哉は2016年5月21日付で現在のトランスナショナルTP事業部門担当に加え、トランスナショナル生産管理部門、生産管理部（部長）、海外生産事業所、富山事業所（事業所長）、ひたち事業所担当を追加。

6. 新任執行役員

新 職	旧 職	氏 名
執行役員 トランスナショナルFC事業部門 FC事業部（事業部長）担当	FC事業部事業部長	増渕 充行 (マスブチ ミツユキ)
執行役員 CIO、経営企画（室長） トランスナショナルシステム開発部門、 システム開発部担当	経営企画室室長	宇佐美 博 (ウサミ ヒロシ)

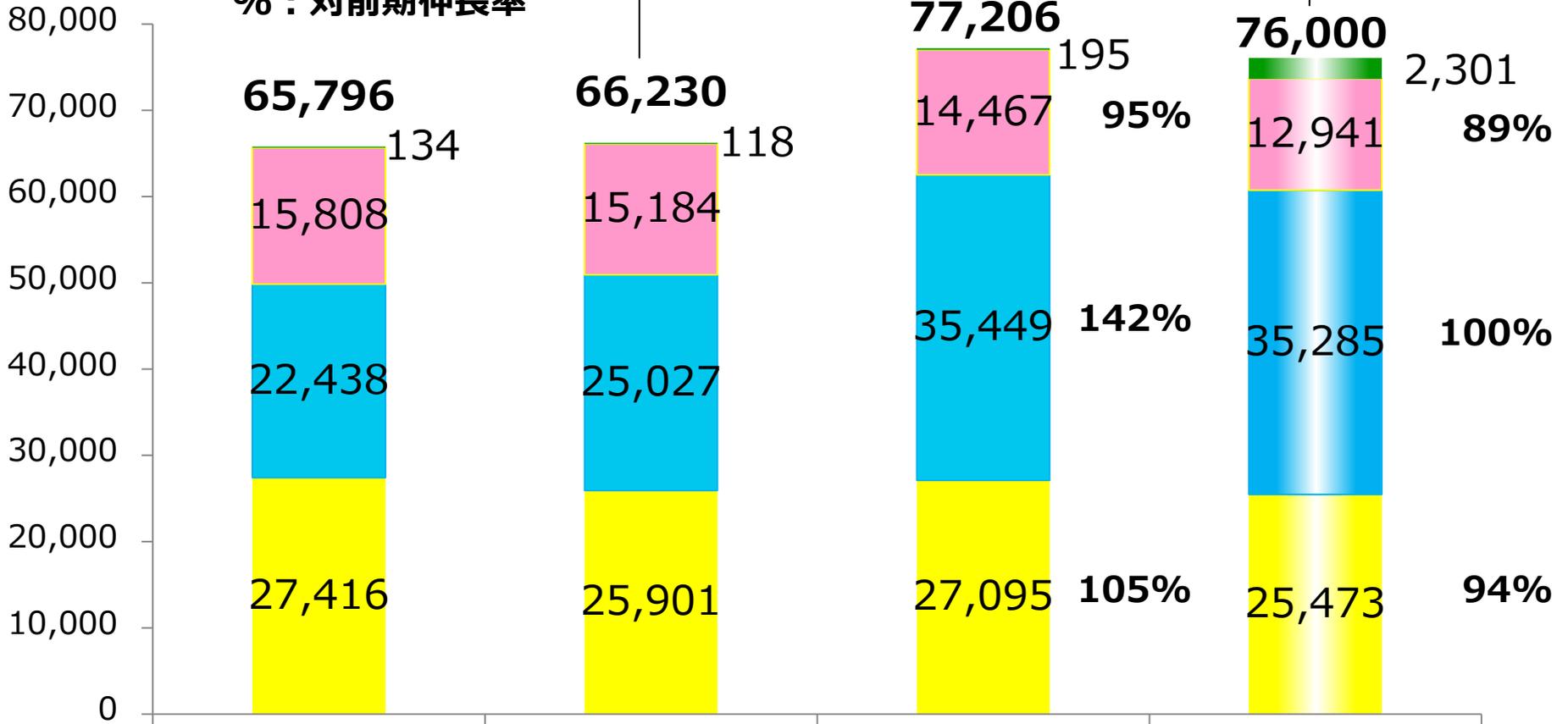
7. 退任執行役員

新 職	旧 職	氏 名
技術顧問 開発センター（所長）	執行役員 トランスナショナルR&D、開発セ ンター（所長）、事業戦略室担当	磯田 勉 (イソダ ツトム)

事業部別 通期売上高 (FY2013-FY2016)^{15/25}

単位：百万円

%：対前期伸長率



FY2013実績

FY2014実績

FY2015実績

FY2016計画

為替レート 1USD=100.12JPY

109.90JPY

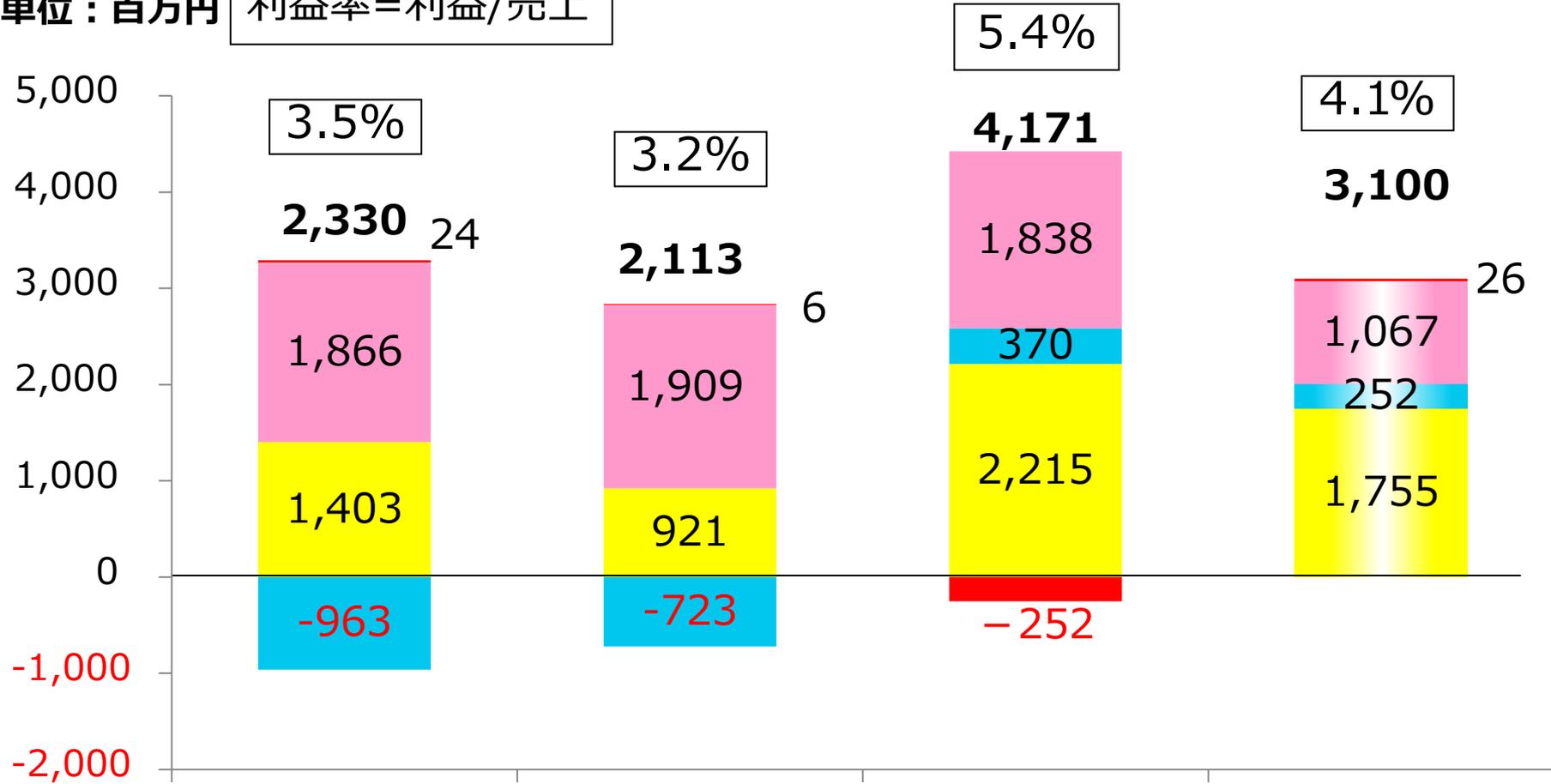
120.47JPY

110.00JPY

CS FC TP その他

事業部別 通期営業利益 (FY2013-FY2016)

単位：百万円 利益率=利益/売上



FY2013実績

FY2014実績

FY2015実績

FY2016計画

為替レート 1USD=100.12JPY

109.90JPY

120.47JPY

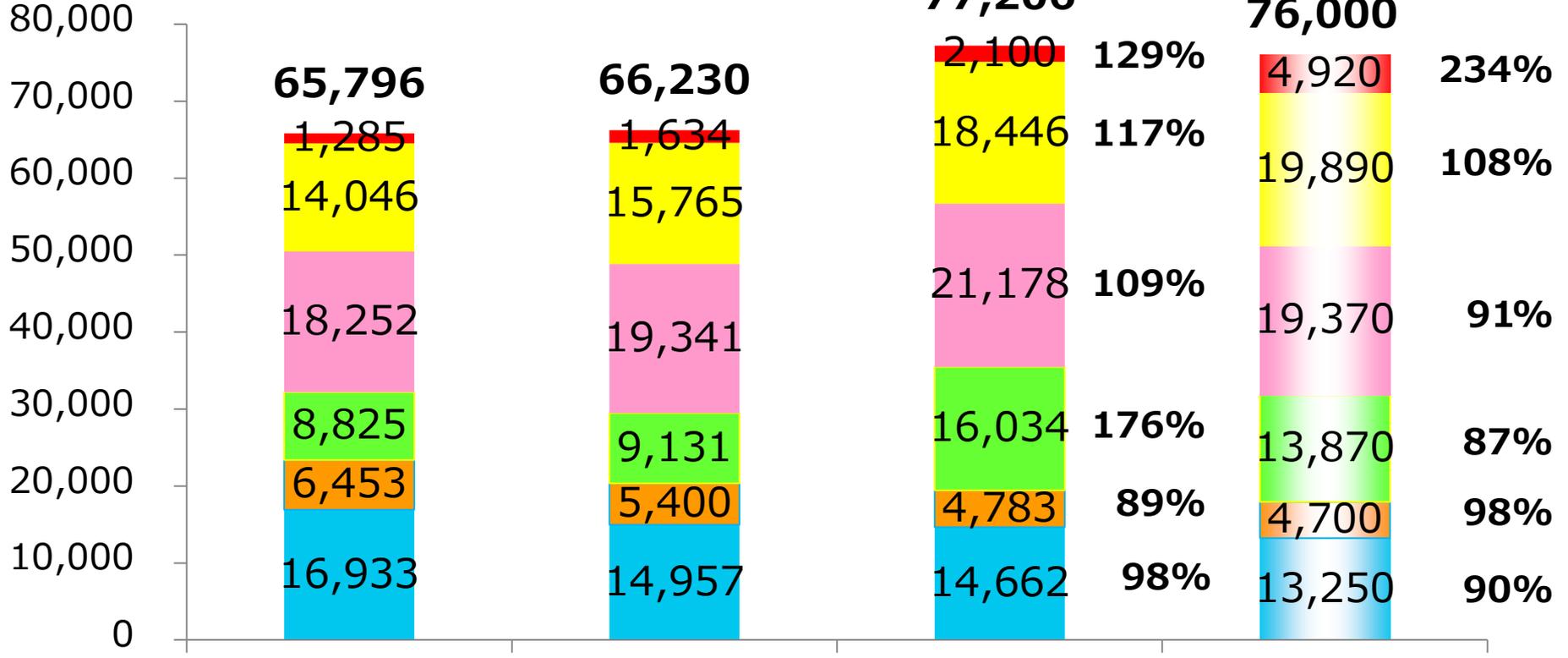
110.00JPY

■ CS ■ FC ■ TP ■ その他

参考：市場別 通期売上高 (FY2013-FY2016)

売上高：百万円

%：対前期伸長率



98%

FY2013実績

FY2014実績

FY2015実績

FY2016計画

為替レート 1USD=100.12JPY

109.90JPY

120.47JPY

110.00JPY

通信部品

情報事務機部品

家電部品

電装部品

映像・音響部品

その他

ネガティブ面



- ✓ 世界経済の減速懸念（円高の進行）
- ✓ スマートフォン市場の成長鈍化
- ✓ 各国で顕在化する政治・地政学的リスク

ポジティブ面



- ✓ 加速する自動車の電子化
- ✓ 新規市場の勃興（IoT社会）
- ✓ エレクトロニクスの応用分野拡大

FY2016重点強化事項

- 主要市場、新規市場での売上拡大 及び
新規事業への取組み強化
- 商品/技術開発力強化
- 採算性向上活動強化
- CSR/コーポレートガバナンスの強化

国内・海外拠点の拡充

- SMKヨーロッパ本社機能
ベルギーからアイルランドへ移転 2015年 4月
- SMK-LOGOMOTION設立 2015年 5月
- フィリピン第二工場稼働 2015年 7月
- マイテック買収 2015年 12月
- シンガポールデザインセンター開設 2016年 1月
- 富山事業所増築 2016年 3月



今後の期待市場

従来の主力市場

スマートフォン・タブレット



セットトップボックス



カーナビ・カーオーディオ



エアコン



太陽光発電システム



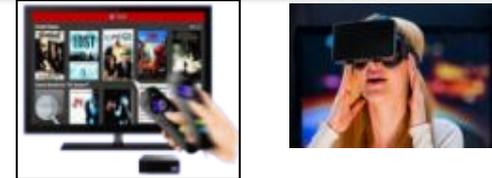
【IoT市場】 2020年、530億台の機器が繋がる 今後の期待市場



ウェアラブル



ホームネットワーク・VR機器



自動運転



スマート家電



エネルギー関連機器



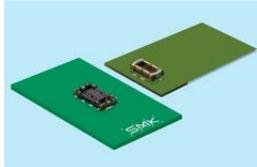
拡大するIoT市場への取り組み

Wearable Device

FPC対基板コネクタ
「FBシリーズ」

Bluetooth®
Smart Module

静電容量方式
タッチパネル/
タッチスイッチ

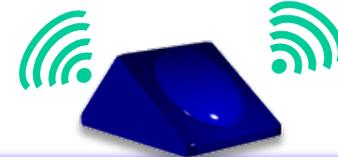


Home Automation

BT/IR
ステッカー™

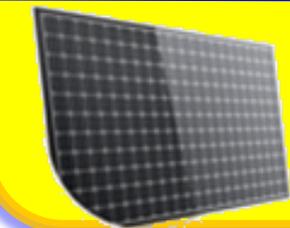
Service Gateway
(開発中)

ECHONET Lite
対応有線
LANアダプタ



クラウド

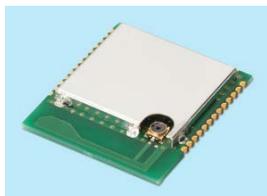
Big Data + Algorithm + AI



PVコネクタ

無線LANモジュール
「WL-2」

モニタリング
システム
(開発中)



Bluetooth® Smart
対応センサーユニット

920MHz帯
特定小電力無線
モジュール

光学方式
タッチパネル



Energy Management

Smart City

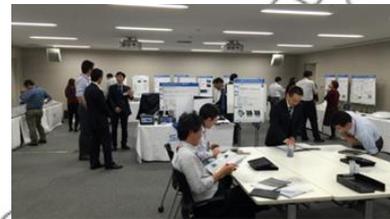
mini TEXPO

開催期間：2015年11月～2016年6月

開催予定：日本	60回
中華圏	43回
ASEAN・韓国	17回
US地区	17回
欧州地区	28回
合計	165回



フランス



日本



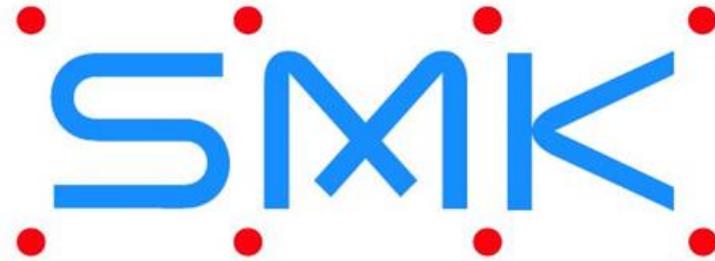
ドイツ



中国



アメリカ



CREATIVE CONNECTIVITY

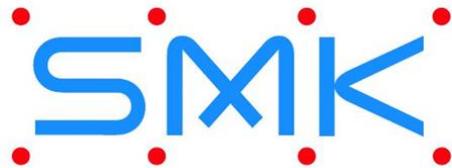
もっと創造的に、もっと繋がる

注意事項

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。



CREATIVE CONNECTIVITY
もっと創造的に、もっと繋がる